

# 南部アフリカ地域気候変動予測モデルを活用した防災・農業分野等支援に係る情報収集・確認調査

国名	南アフリカ、ナミビア、モザンビーク、マラウイ
発注者	国際協力機構（JICA） 地球環境部
事業分野	地球環境
実施期間	2013年2月から約5ヶ月間

## 事業の背景

近年アフリカ各地で気象災害が増加し、これらの気候変動に適応するためには、気候予測技術の向上が喫緊の課題でした。そのため、JICAと独立行政法人科学技術振興機構は2010年から3年間、南アフリカ共和国と共同で『気候変動予測と南部アフリカにおける応用』（以下、SATREPS プロジェクト）を実施し、スーパーコンピュータを利用した気候予測モデル（半年から1年先までの気温や降水量予測モデル）の開発・研究を行いました。本事業はSATREPSプロジェクトで得られた気候予測モデルの将来的な社会実装を目指し今後の事業展開の方向性を探るための情報収集が行われました。

## 事業の内容

本事業では、南部アフリカでも海流等に起因する気候変動の影響を受けやすいナミビア・モザンビーク・マラウイにおいて、防災、農業/水資源管理分野を中心に気候予測データの重要性を検証し、同予測モデルならびにデータの活用可能性について各国の政府機関等に対して調査を行い、最終的に報告書を作成しました。具体的には、気候予測モデルの解析結果を活用するために、国内作業、現地調査を通じて以下の作業を行いました。

①既往の SATREPS プロジェクトのレビューおよび各国の防災、農業、水資源管理分野において JICA が行ってきた事業のレビュー等 ②南アフリカで実施した SATREPS プロジェクトの成果の確認 ③モザンビーク・ナミビア・マラウイにおいて関係者への聞き取りから気候、気象予測、防災、農業、水資源管理等分野における気候変動予測モデルの適用可能性についての情報収集・現状分析 ④気候予測モデルの応用について今後の支援方針、協力内容検討に係る情報収集・整理 ⑤現地調査結果の報告・取りまとめ、ファイナルレポートへの整理

これらの取り組みにより、本事業は気候変動リスクに対する南部アフリカ各国の防災体制の強化や農業生産における作物モデル策定に貢献することが期待されています。



©The World Factbook



地域での聞き取り調査の様子



モザンビーク関連省庁と協議を行っている様子